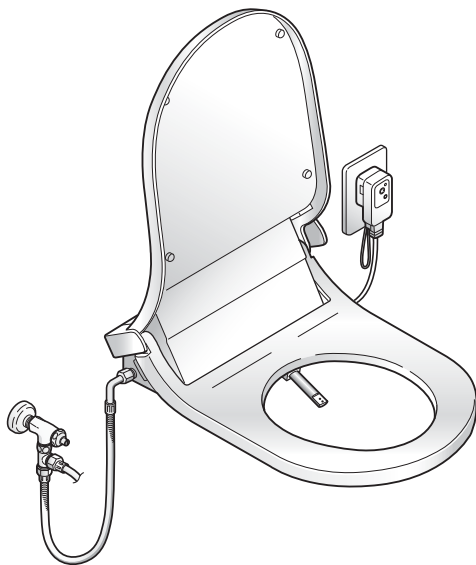


sensowash®



温水洗浄便座 取扱説明書

品番	品名
#DU-610000001051	温水洗浄便座(ワイヤレスリモコン式)

- このたびは、温水洗浄便座をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- 使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意	5
各部のなまえ	6

使いかた

はじめて使うとき	8
・アース線が接続されていることを確認する	8
・リモコンに電池を入れる	8
・通水する	9
・電源を入れる	9
・動作の確認をする	9
基本の使いかた	10
・便ふたを開ける・閉める	10
・洗浄する	10
・乾燥する	11
お好みに調節する	12
・ノズル位置を調節する	12
・洗浄の強さを調節する	12
・乾燥・便座・温水の温度を調節する	13
・個人設定を保存する	13
(オーナーシートポジション)	
便器内を照らす(ナイトライト)	14
・ナイトライトの設定を切り替える	14
節電する(節電モード)	15
・節電モードを設定する	15
・節電モードを解除する	15

お手入れ

お手入れと点検のしかた	16
・お手入れ・定期点検時期の目安	16
・便ふた・便座のお手入れ	17
・便座本体裏面のお手入れ	17
・ノズルのお手入れ	19
・リモコン・リモコンホルダーのお手入れ	20
・電源プラグのお手入れ	20
・漏電の確認	20
・止水栓・フレキホースのお手入れ	21
・ストレーナーの異物を取る	21


こんなときは？


凍結を防止する	22
長期間使用しないとき	22
リモコンがリモコンホルダーに 固定されているとき	23
・取外しかた	23
・取付けかた	23
漏電表示ランプが点灯したときは	24
・漏電表示ランプの解除方法	24
リモコンボタンの表示が 暗くなったときは	25
故障かな?	26
エラー表示	28
仕様・定格	29
アフターサービス	30
・保証書と保証期間について	30
・修理を依頼されるときは	30
・部品の保有期間	30
・お問い合わせ先	30
保証書	31

安全上のご注意(必ずお守りください)


*使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項および説明書の注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。


 **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが予想されます。


 **注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。


お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 気をつけていただきたい「注意」を表します。


 分解しないでください。


 必ず実行していただく「強制」を表します。

 してはいけない「禁止」を表します。

 風呂・シャワーなどの水場での使用禁止を表します。


 電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを表します。

 水のかかる場所での使用禁止を表します。

 必ずアース接続してください。


警告

■全般

 ● 修理技術者以外の人は、説明書に記載された箇所以外は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。

(火災や感電、故障の原因になります。)

→修理の際は、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターに依頼してください。

 ● 次のような異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いて、止水栓を閉めてください。

(火災や感電、故障の原因になります。)

- ・異音・異臭がする。
- ・ヒビや割れが入っている。
- ・がたついている。
- ・本体や電源プラグ、電源コードが異常に熱い。
- ・煙が出ている。
- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

→点検・修理をお買い上げの販売店、工事店またはコールセンターに依頼してください。

■設置・使用


 ● 飲用可能な水以外は使用しないでください。(故障や皮膚の炎症などの原因になります。)

● 温風吹き出し口に指や物を入れたり、衣服でふさいだりしないでください。

(感電や故障、やけどの原因になります。)

● ストープやヒーター、たばこなどの火気を近づけないでください。

(火災や故障、変形・破損の原因になります。)

 ● 浴室など、水がかかったり、表面に結露を生じやすいような湿気が多い場所では使用しないでください。


(火災や感電、故障の原因になります。)

 ● 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

(火災や感電、故障の原因になります。)

● 長時間座るとき、または次のような方が使用するときは、便座や乾燥の温度を「切」または「低」にしてください。

(長時間皮膚の同じ場所が便座に触れると低温やけどの原因になります。)

-  ●
- ・お子様
 - ・お年寄りや自分で温度調節ができない方
 - ・ご病気の方や身体の不自由な方
 - ・皮膚の感覚の弱い方
 - ・眠気を誘う薬(睡眠薬、風邪薬)を服用された方
 - ・深酒、疲労の激しい方



警告

■電源コード・電源プラグ・アース線



- アース工事(D種接地工事)がされていることを確認してください。
(アース工事がされていないと故障や漏電の際に感電する恐れがあります。)
→工事がされていない場合は、必ずお買い上げの販売店に依頼して工事を行ってください。
- 指定する電源(AC 100V)以外では使用しないでください。
(火災や故障などの原因になります。)
- 電源コードの加工(切断や継ぎ足しなど)はしないでください。
(火災や感電の原因になります。)
- コードを乱暴に扱ったり(折り曲げたり、重いものを載せるなど)、ガタついているコンセントを使用しないでください。
(火災や感電の原因になります。)
- アース線はガス管・水道管・避雷針などには絶対に接続しないでください。
(感電の原因になります。)
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。
(タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)
- 電源コードをたばねたまま使用しないでください。
(火災の原因になります。)
- 電源プラグを濡れた手でさわらないでください。
(感電の原因になります。)
- フレキホースと電源プラグ、コンセントを接触させないでください。
(結露などによる火災や感電の原因になります。)
- 仕様表に記載している消費電力、電源を確認し、必ずこれに適した配線をしてください。
(火災の原因になります。)
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜いてください。
(コードを引っ張ると電源プラグ本体やコードが傷み、火災や感電、故障の原因になります。)
- 電源プラグをコンセントに差込むときは、根元まで確実に差込んでください。
(火災や感電、故障の原因になります。)
- 安全のため、月に1回程度は、電源プラグのプラグ部分についたホコリなどを取除き、根元まで確実に差込んでください。
(火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてください。)



- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから取外してください。
(感電の原因になります。)
- 長期間使用しない場合は、止水栓または配管の元栓を閉めて電源プラグをコンセントから抜いてください。また、本体の水抜栓を開けて本体内の水を抜いてください。
(誤作動などによる予想しない事故や、漏水により家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。)



■電池




- 新しい電池と古い電池や異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
(電池の破裂や液漏れにより、ケガをしたり周囲を汚損する原因になります。)
- 電池を取付ける際は、極性(⊕⊖の向き)を間違えないように取付けてください。
(電池の破裂や液漏れにより、ケガをしたり周囲を汚損する原因になります。)
- 電池の液漏れが発生した場合は、素手で触らず以下の処置をしてください。
 - ・液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。
 - ・液が身体や衣服についたときは、皮膚の炎症やケガの原因になる場合があります。すぐにきれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。
(窒息や胃などにつまる原因になり、大変危険です。)

⚠ 注意


■使用

-  便ふたに寄りかからないでください。
(便ふたが割れて転倒したり、ケガをする恐れがあります。)
- 便ふたや便座の上に乗ったり、強い衝撃を加えたりしないでください。また、重い物を載せないでください。
(故障や変形・破損の原因になります。また、ケガをする恐れがあります。)
- 便ふたや便座の作動中は手などで動きを止めたり逆方向に動かさないでください。
(故障や変形・破損の原因になります。)
- フレキホースに無理な力を加えたり、無理に曲げたりしないでください。特にお手入れの際に本体を取外したり、取付けたりする際は注意してください。
(フレキホースの破損などにより漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。)
- リモコンに強い衝撃(落としたり、たたいたり、ボタンを強く押ししたりするなど)を加えないでください。
(故障や変形・破損の原因になります。)
- 持ち運ぶ際は、便ふたや便座だけを持って運ばないでください。
(故障や変形・破損の原因になります。また、ケガをする恐れがあります。)
- 便ふた、便座にカバーをかけないでください。
-  便ふたや便座を開閉する際に、指などをはさまないように注意してください。
(ケガの原因になります。)


■お手入れ

-  フレキホースを取外す際は、必ず止水栓を閉めて水を止めてください。再度フレキホースを取付ける際は、確実に締め付けてください。
(水の噴出しや漏水などにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。)
- ノズルをお手入れする際にノズルに無理な力を加えたり、無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
(故障や変形・破損の原因になります。)

■凍結防止

-  凍結が予想される場合は、暖房するなどして凍結を予防してください。
(凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。)

■電源コード・電源プラグ・アース線

-  雷の発生が予想されるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(感電や故障の原因になります。)

■電池

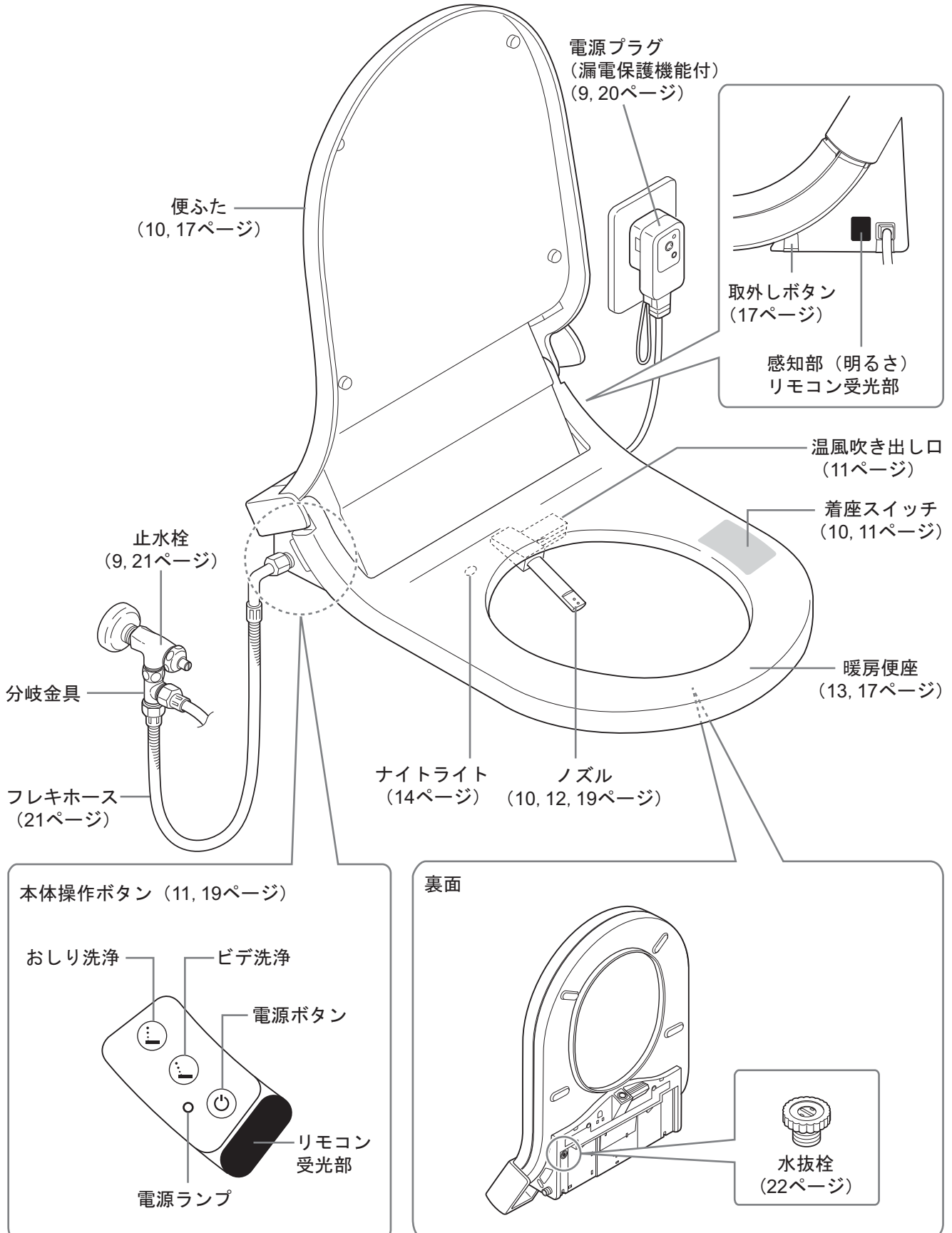
-  電池はアルカリ電池をご使用ください。

使用上のご注意

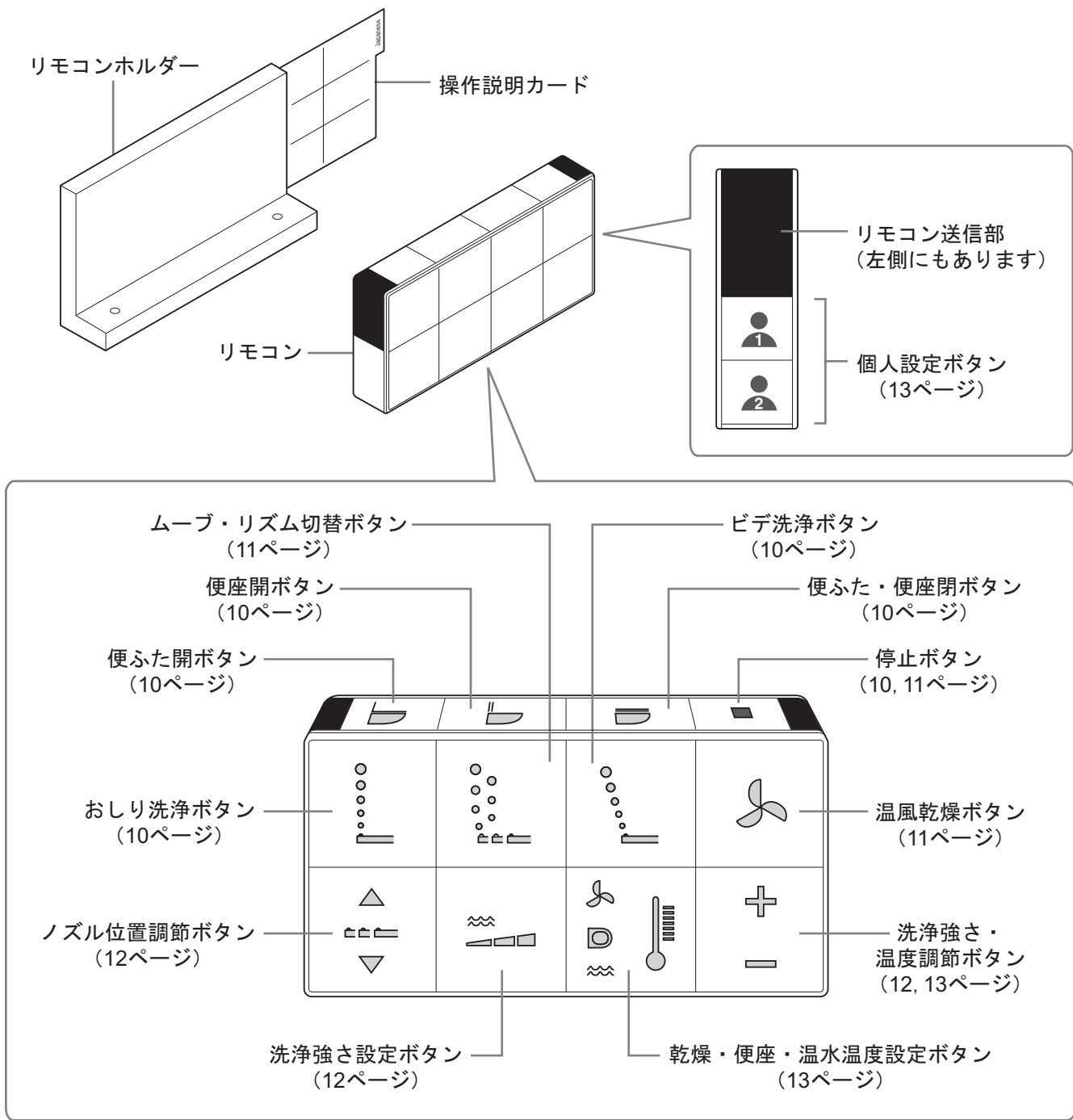
- 便座本体、便ふた、便座などを乾いた布やトイレットペーパーなどで拭かないでください。
(表面に傷がつく恐れがあります。)
- 便ふたに寄りかからないでください。
(便ふたが割れて転倒したり、ケガをする恐れがあります。)
- お手入れの際、酸性やアルカリ性・塩素系の洗剤、ベンジンやシンナー・油などは使用しないでください。
(金属表面を傷つけたり、プラスチック部・塗装面を傷める恐れがあります。)
- 特に小さなお子様を使用するときには、便ふた・便座の取付け部に指などを挟まないようにご注意ください。
(ケガをする恐れがあります。)
- リモコン操作の際、爪などで強くボタンを押さないでください。
(ボタンが破損する場合があります。)
- リモコンの送信部および便器本体の受光部は、妨げになるようなもので覆わないでください。
(リモコンが正常に機能しない恐れがあります。)
- 便座・便ふたの上に物を置いたり、手で押さえたりしないでください。
(着座スイッチが反応し、リモコンのボタンにふれたときにノズルから温水が噴出して床などを濡らす恐れがあります。)
- 便座の上に幼児用補助便座などを置いて使用した場合は、一部の機能が使用できなくなることがあります。

各部のなまえ

温水洗浄便座



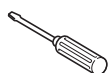
リモコン



- 各ボタンを押すと、本体より確認音が「ピンッ」と鳴ります。操作を受け付けていないときは鳴りません。
- ボタンの表示は停止ボタンを押す、または操作後約10秒経過すると消灯します。再度、ボタンを押せば点灯します。
- リモコンとリモコンホルダーは磁石で固定されます。時計、磁気カードなど磁気の影響を受けるものは近づけないでください。

はじめて使うとき

準備するもの



マイナス
ドライバー



単4形乾電池3本
(アルカリ電池)

アース線が接続されていることを確認する

アース線が接続されていないと故障・漏電時に感電の原因になります。

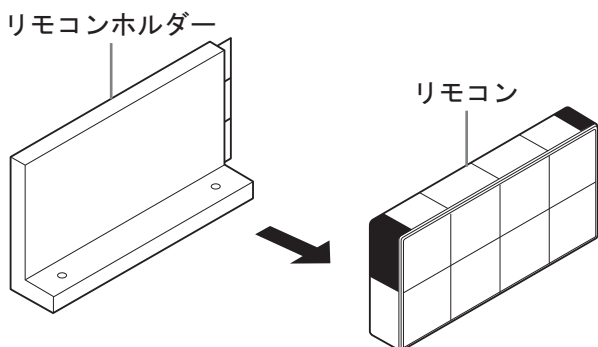
アース工事は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。



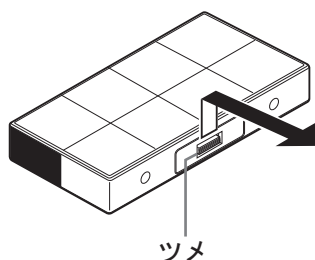
リモコンに電池を入れる

※リモコンがリモコンホルダーに固定されている場合は、23ページをご参照ください。

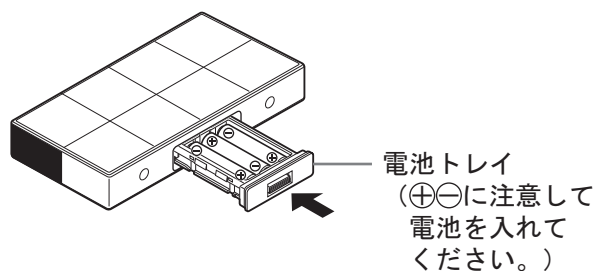
1 リモコンをリモコンホルダーから取外します。





2 リモコン底面にあるツメを押し上げ、電池トレイを引き出します。



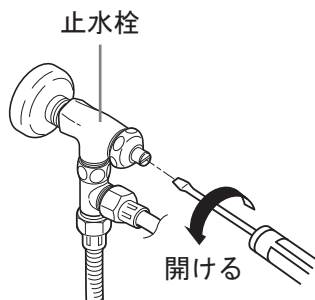
3 電池を入れ、電池トレイを閉めます。



 禁止	新しい電池と古い電池や異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。 (電池の破裂や液漏れにより、ケガをしたり周囲を汚損する原因になります。)
 必ず実行	電池を取付ける際は、極性(⊕⊖の向き)を間違えないように取付けてください。 (電池の破裂や液漏れにより、ケガをしたり周囲を汚損する原因になります。)

通水する

「マイナスドライバー」で止水栓を開けます。

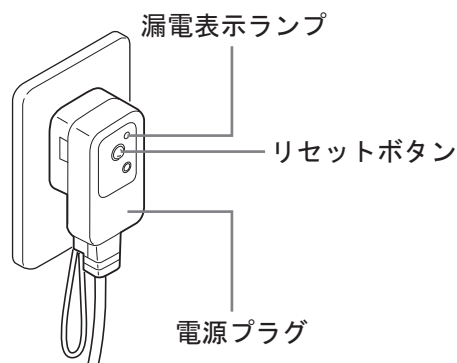


電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差込みます。

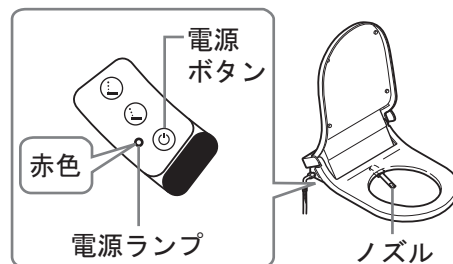
- ・ノズルが出た後、再び引き込まれ、「ピンッ」という確認音がします。
- ・漏電表示ランプが点灯する場合は、リセットボタンを押してください。

リセットボタンを押しても漏電表示ランプが消灯しないときは、24ページの「漏電表示ランプが点灯したときは」をご参照ください。



2 本体の電源ランプが点灯(赤)していることを確認します。

点灯していないときは電源ボタンを約2～3秒押します。

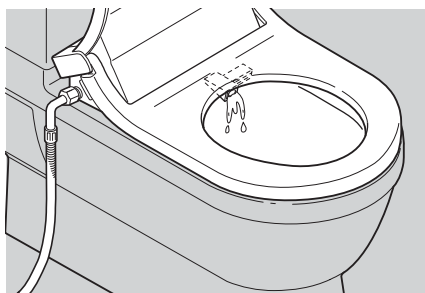
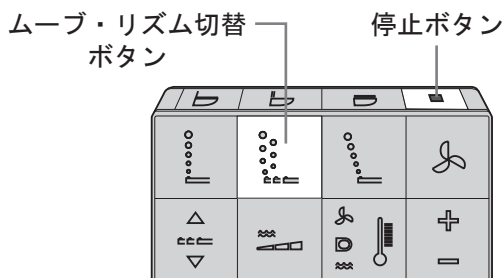


動作の確認をする

停止ボタンを押しながら、ムーブ・リズム切替ボタンを押します。

- ・ノズルから水が流れ出ることを確認します。(ノズルは出てきません。)
- ・水を止めるには、再度停止ボタンを押しながら、ムーブ・リズム切替ボタンを押します。
- ・約3分経過すると、自動で止まります。

※確認するときは、便座に座ったり便座の上にひじをついたり、物を置いたりしないでください。着座スイッチが反応し、動作の確認ができません。





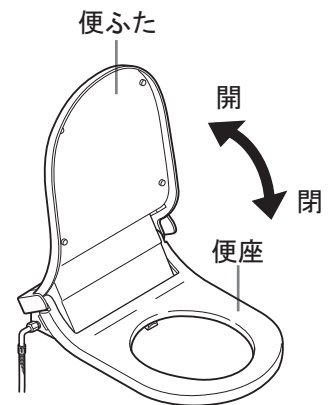
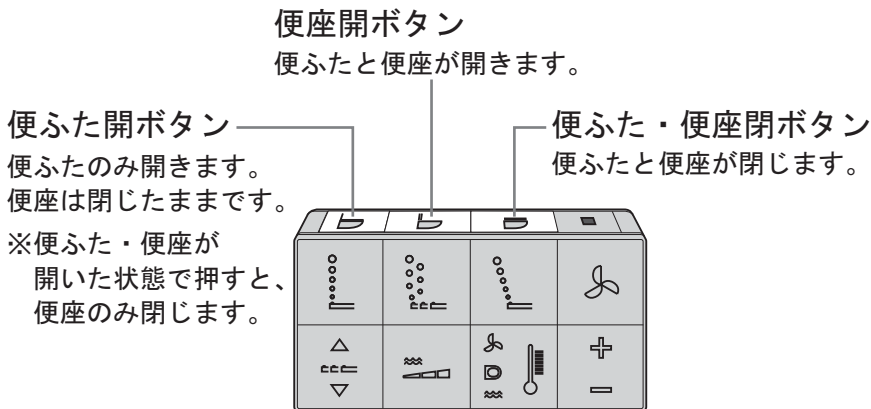
※ノズルから水が出ない場合は、26ページの「故障かな?」をご参照ください。

ご使用の準備ができました。

基本の使いかた

便ふたを開ける・閉める

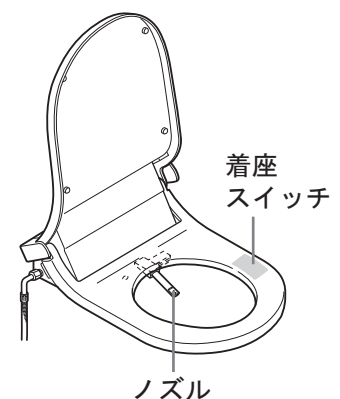
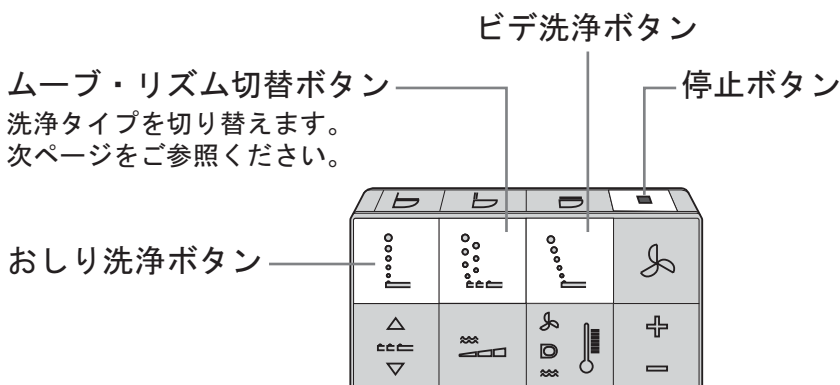
 禁止	便ふた・便座の作動中は手などで動きを止めたり逆方向に動かしたりしないでください。 (便ふた・便座の開閉機能が正常に動かなかったり、故障の原因になります。)
 注意	便ふた・便座開閉時に、指などはさまないように注意してください。 (はさまれると、ケガの原因になります。)



※手で開閉するときは強い力を加えないでください。

洗浄する

着座スイッチが反応していないと、洗浄機能は使用できません。
※便座に座ると着座スイッチが反応し、「ピンツ」という確認音が鳴ります。確認音が鳴らないときは着座スイッチが反応できていないので、便座に座り直してください。
※確認音を消している場合は、着座スイッチが反応しても確認音は鳴りません。(13ページ参照)



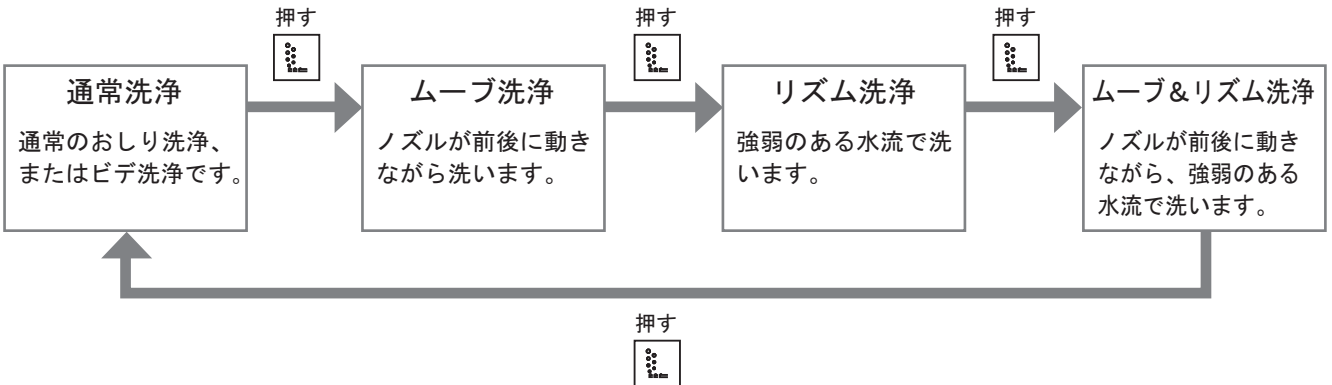
※洗浄は約3分経過すると、自動的に停止します。
※おしり洗浄とビデ洗浄の開始前と終了後に、自動的に水を出してノズルを洗浄します。

●おしり洗浄、ビデ洗浄についてお願い

- 局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については医師の指示を守ってください。

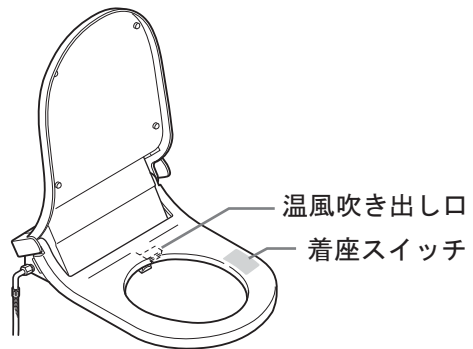
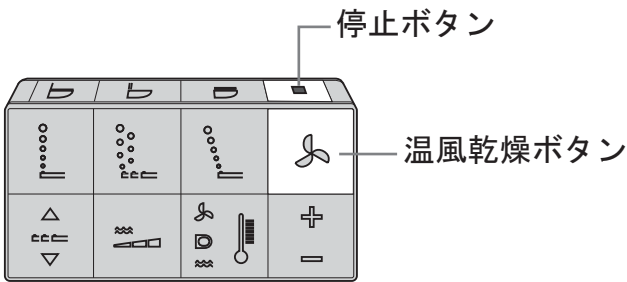
洗浄タイプの切り替え

おしり洗浄、またはビデ洗浄中にムーブ・リズム切替ボタンを押すと、3種類の洗浄タイプに切り替えることができます。



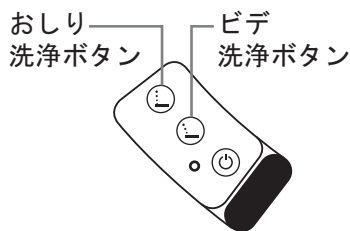
乾燥する

着座スイッチが反応していないと、乾燥機能は使用できません。
 ※ 便座に座ると着座スイッチが反応し、「ピンッ」という確認音が鳴ります。確認音が鳴らないときは着座スイッチが反応できていないので、便座に座り直してください。
 ※ 確認音を消している場合は、着座スイッチが反応しても確認音は鳴りません。(13ページ参照)



※乾燥は約3分経過すると、自動的に停止します。

本体操作ボタンで操作するとき



ボタンを押すと通常洗浄が始まります。

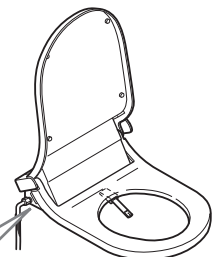
さらにボタンを押すと、下記のように操作できます。

おしり洗浄 (停止) (停止)

通常洗浄 → ムーブ洗浄 → 停止

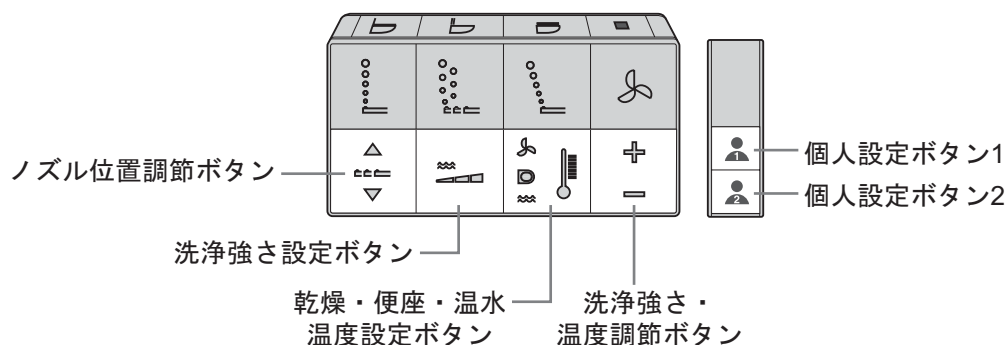
ビデ洗浄 (停止) (停止)

通常洗浄 → ムーブ洗浄 → 停止



お好みに調節する

ノズル位置、洗浄の強さ、乾燥・便座・温水の温度をお好みに調節し、登録して呼び出すことができます。

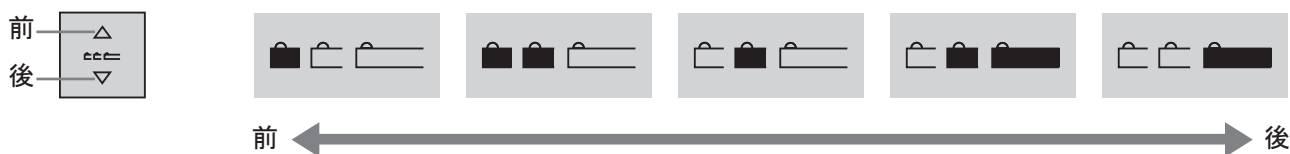


- 前回の設定内容を記憶しています。
- 使用前、使用中に関わらず調節できます。
- イラスト中の■は、点灯を表示しています。

ノズル位置を調節する

ノズル位置調節ボタンの「▲」「▼」を押して調節します。
5段階でお好みの位置に調節できます。

ノズル位置調節ボタン



洗浄の強さを調節する

- 1 洗浄強さ設定ボタンを押します。
- 2 洗浄強さ・温度調節ボタンの「+」「-」を押して調節します。
3段階でお好みの強さに調節できます。

洗浄強さ・
温度調節ボタン

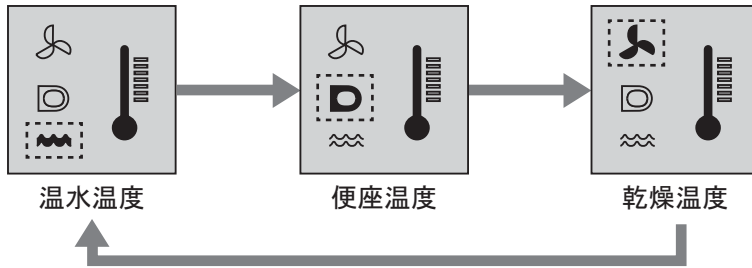


※水圧の低いところでは、洗浄強さを弱くすると水が出ない場合があります。
この場合、洗浄強さを強くしてご使用ください。

乾燥・便座・温水の温度を調節する

1 乾燥・便座・温水温度設定ボタンを押して、調節したい機能を選択します。

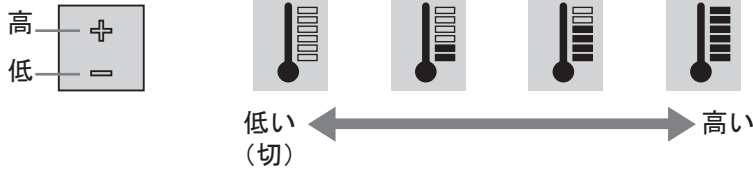
※ボタンの真ん中を押してください。



2 洗浄強さ・温度調節ボタンの「+」「-」を押して調節します。

「切」「低」「中」「高」の4段階でお好みの温度に調節できます。

洗浄強さ・
温度調節ボタン



個人設定を保存する(オーナーシートポジション)

ノズル位置、洗浄の強さ、温度の設定を2名まで登録し、呼び出すことができます。

登録する

1 お好みの設定に調節します。

2 個人設定ボタン1 、または2 を「ピンツ」という確認音がするまで約2~3秒押します。

登録を呼び出す

個人設定ボタン1 、または2 を押します。

設定内容がリモコンパネルに点灯し、お好みの設定が呼び出されます。

登録内容を変更する

1 個人設定ボタン1 、または2 を押します。

2 お好みの設定に変更します。

3 個人設定ボタン1 、または2 を「ピンツ」という確認音がするまで約2~3秒押します。

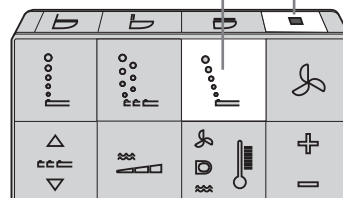
変更した内容が上書き保存されます。

リモコンの確認音を消す

停止ボタンを押しながらビデ洗浄ボタンを押すと、確認音を消すことができます。

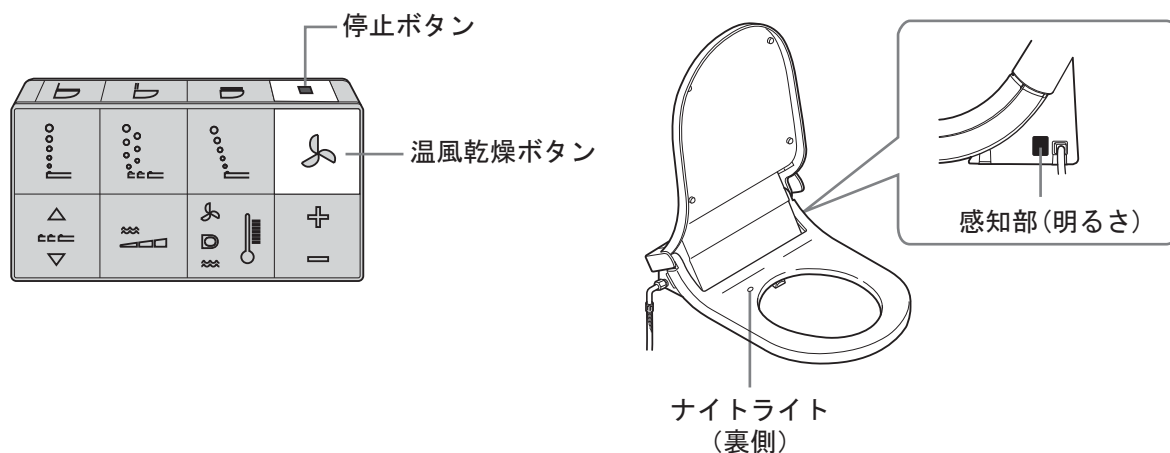
再度停止ボタンを押しながらビデ洗浄ボタンを押すと、確認音が鳴るようになります。

ビデ洗浄ボタン 停止ボタン



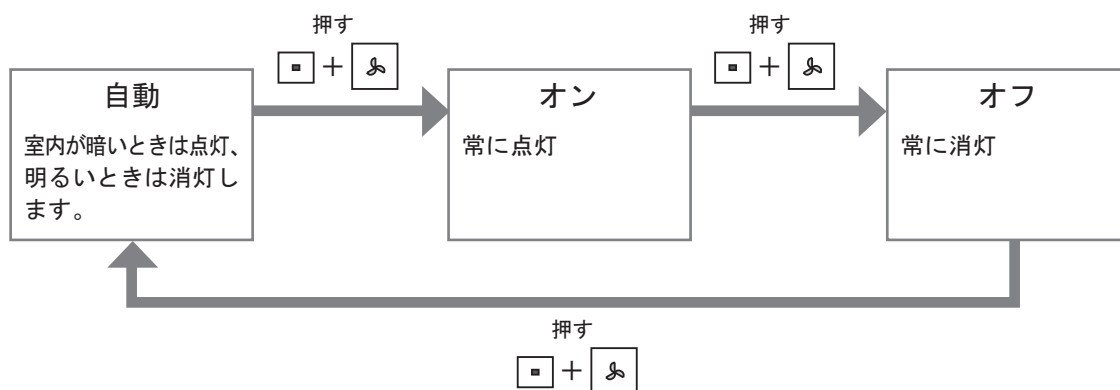
便器内を照らす(ナイトライト)

センサーが室内の明るさを感知して便器内をほんのり照らします。
3種類の設定を切り替えることができます。



ナイトライトの設定を切り替える

停止ボタンを押しながら、温風乾燥ボタンを押します。
3種類の設定が切り替わります。

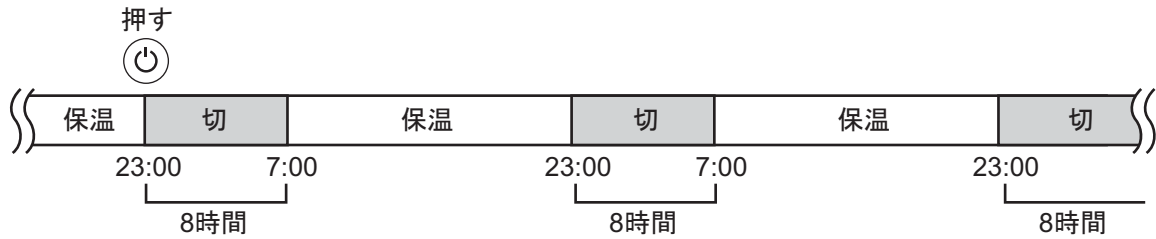


※感知部が影になっていたり、感知部に光が当たっていたりすると、「自動」設定時にナイトライトが正しく作動しない場合があります。

節電する(節電モード)

一度設定すると、毎日その時間に自動で便座の保温が切れる「節電モード」を設定することができます。

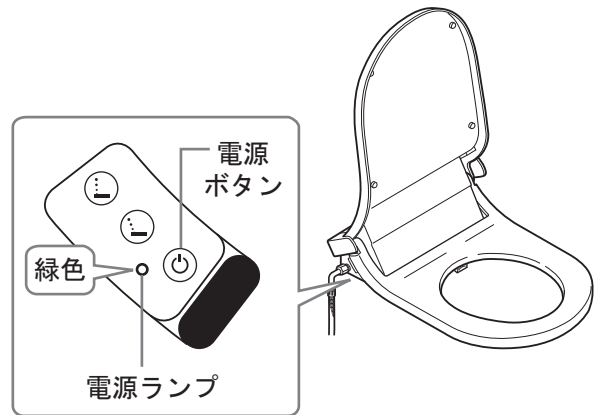
【例】23:00~7:00まで節電する場合



節電モードを設定する

節電を開始したい時刻になったら、電源ボタンを押します。

- 電源ランプが赤から緑に変わります。
- ボタンを押した時点から8時間便座の保温が切れます。8時間後に自動で保温が開始されます。
- 節電モードを設定すると、解除するまで電源ランプは緑色です。



節電モードを解除する

電源ボタンを押します。

節電モードが解除され、電源ランプが緑から赤に変わります。

※再度節電モードを設定する場合は、「節電モードを設定する」をご参照ください。

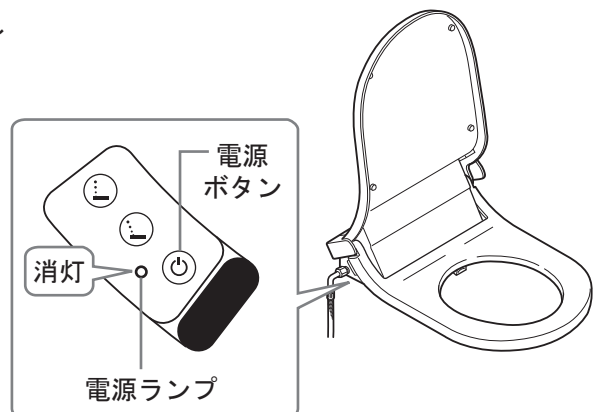
長時間使用しないとき

長時間使用しないときは、電源ボタンを約2~3秒押し、電源を切ってください。





※ 電源ランプは消灯します。

※ 以下の設定は解除されます。

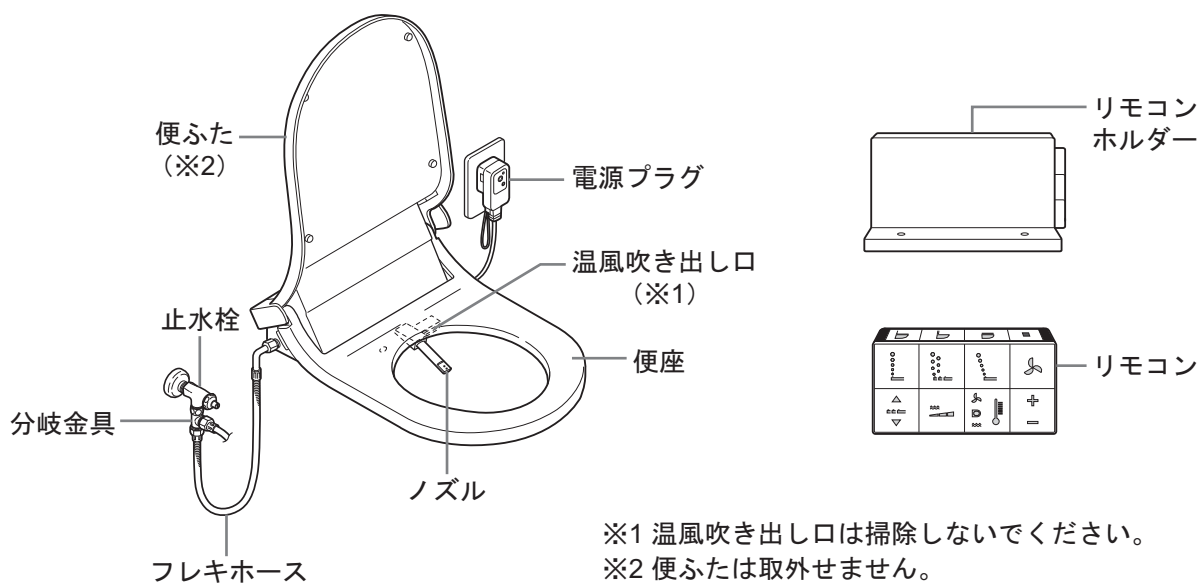
- 節電モード
- 確認音を消す
- ナイトライト(オン・オフ)
→「自動」設定になります。



お手入れと点検のしかた

 注意	お手入れの際は次のような物は使用しないでください。 (金属表面を傷つけたり、プラスチック部・塗装面を傷める恐れがあります。) ・たわし ・クレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤 ・酸性やアルカリ性、塩素系の洗剤 ・ベンジンやシンナー、油
 プラグを抜く	お手入れの際は、電源プラグをコンセントから取外してください。 (感電の原因になります。)
 水ぬれ禁止	本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。 (火災や感電、故障の原因になります。)
 禁止	便器のお手入れ時、トイレ用洗剤を便座本体にかけないでください。 (本体を傷めることがあります。)

お手入れ・定期点検時期の目安



	お手入れ		点検	
	日常	週に1回	月に1回	半年に1回程度
便ふた・便座 (17ページ)	柔らかい布で水拭き	便座本体を取外して裏面を水拭き	—	ヒビ割れ、欠け、がたつき、ゆるみがないかを確認
ノズル (19ページ)	—	・自動洗浄 ・手動洗浄	—	—
リモコン・リモコンホルダー (20ページ)	—	柔らかい布でから拭き	—	—
電源プラグ (20ページ)	—	—	・柔らかい布でから拭き ・漏電テスト	—
止水栓・フレキホース (21ページ)	—	柔らかい布でから拭き	—	・ストレーナーの異物を取る ・ゆるみ・傷み・破損・水漏れがないかを確認

便ふた・便座のお手入れ

汚れをそのままにしておくと取れにくくなります。汚れたらすぐにお手入れをしましょう。

準備するもの



台所用
中性洗剤



柔らかい布

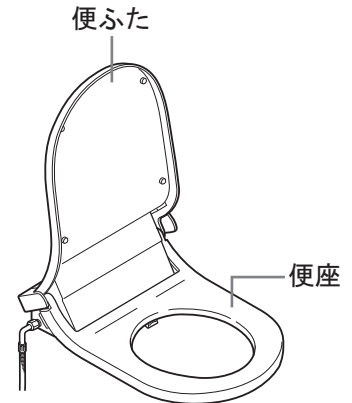
※乾いた布・トイレットペーパーは使用しないでください。
お手入れの前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
お手入れが終わったら電源プラグをコンセントに差込んでください。

ふだんのお手入れ

固く絞った柔らかい布で水拭きします。

汚れが目立つとき

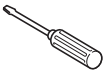
- 1 薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭きます。
- 2 固く絞った柔らかい布で水拭きします。



便座本体裏面のお手入れ

便座と便器のすきまなど、かくれた部分の汚れが気になるときは、以下の要領でお手入れしてください。

準備するもの

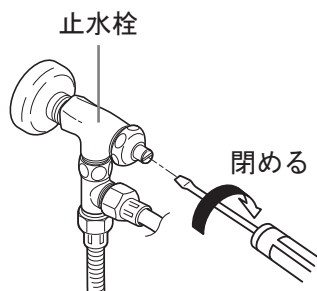


マイナス
ドライバー

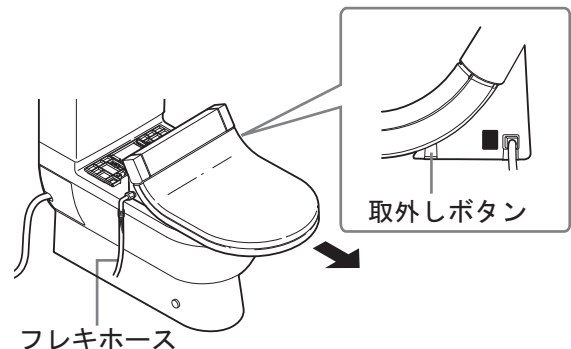
※お手入れの前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
お手入れが終わったら電源プラグをコンセントに差込んでください。

- 1 「マイナスドライバー」で止水栓を閉め、水を止めます。

※この時、何周回したかを確認してください。



- 2 便座本体を両手で持ち、本体右側の取外しボタンを押したまま、便座本体を手前に引いて取外します。



禁止

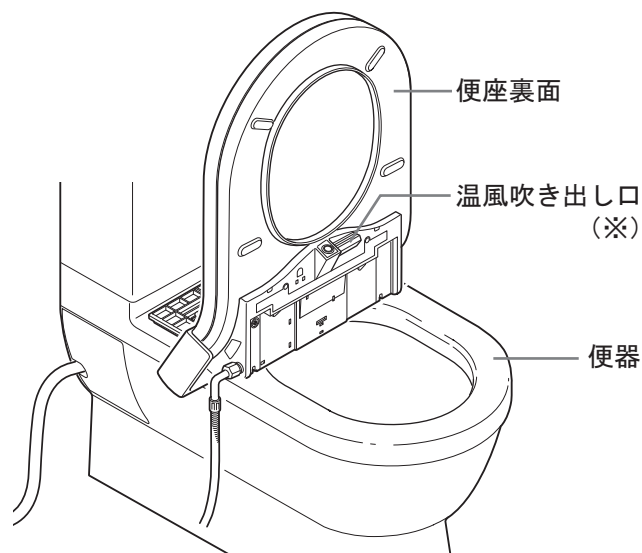
フレキホースに無理な力を加えたり、無理に曲げたりしないでください。
特にお手入れの際に本体を取外したり、取付けたりする際は注意してください。
(フレキホースの破損などにより漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。)

お手入れと点検のしかた(つづき)

3 お手入れをします。

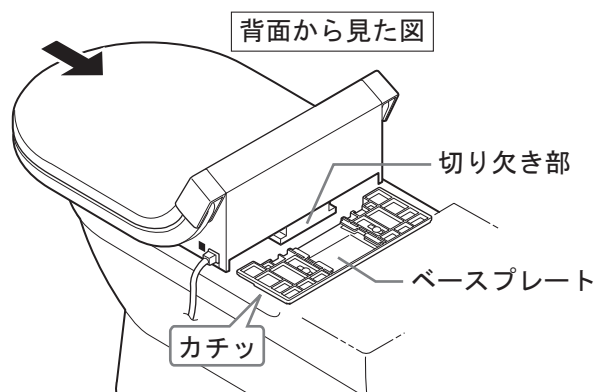
便座本体を便器の上に立て、倒れないように手でささえながら、裏面を柔らかい布で水拭きします。

※温風吹き出し口は、故障の原因になりますので掃除しないでください。



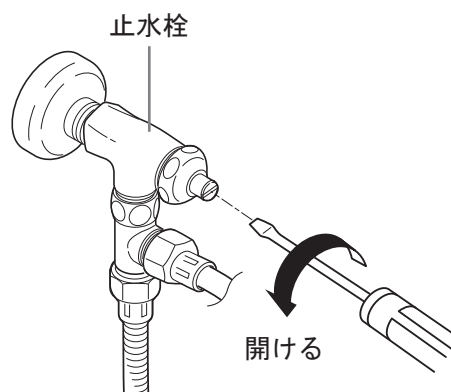
4 便座本体の切り欠きにベースプレートをはまるよう便座本体をセットし、スライドさせながら、「カチッ」と音がするまで奥へ押し込みます。

本体を軽く手前に引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。



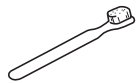
5 「マイナスドライバー」で止水栓を開けます。

※止水栓を閉める際に確認していた回転数だけ回して、元の位置まで開けます。



ノズルのお手入れ

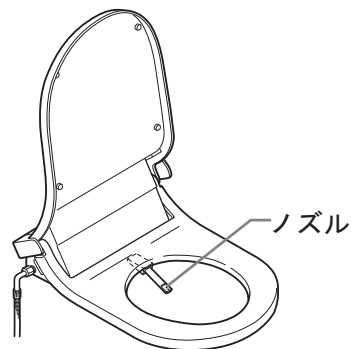
準備するもの



柔らかい布

歯ブラシ

※ノズルの洗浄をする際は、便座に座ったり便座の上にひじをついたり、物を置いたりしないでください。着座スイッチが反応し、ノズルの洗浄ができません。



ふだんのお手入れ(自動洗浄)

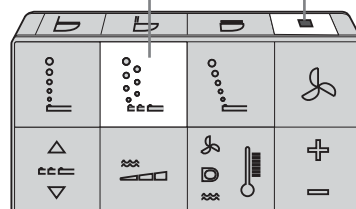
停止ボタンを押しながら、ムーブ・リズム切替ボタンを押します。

ノズルから水が出て約3分間自動で洗浄します。(ノズルは出てきません。)

※途中で洗浄を止めたいときは、再度**停止ボタンを押しながら、ムーブ・リズム切替ボタンを押します。**

ムーブ・リズム切替ボタン

停止ボタン



汚れが目立つとき(手動洗浄)

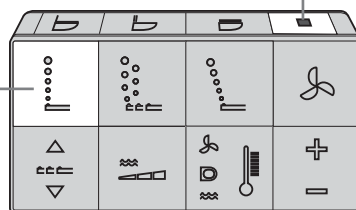
1 停止ボタンを押しながら、おしり洗浄ボタンを押します。

ノズルの根元付近から洗浄水が出たあと、ノズルが出てきます。

2 柔らかい布または歯ブラシで、ノズルの汚れを取除きます。

停止ボタン

おしり洗浄ボタン



禁止

ノズルをお手入れする際にノズルに無理な力を加えたり、無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。

(故障や変形・破損の原因になります。)

3 再度停止ボタンを押しながら、おしり洗浄ボタンを押します。

ノズルが戻り、ノズルの根元付近から洗浄水が出て洗浄が完了します。

※ノズルを出した状態で放置すると、約3分後にノズルは自動的に戻ります。

本体操作ボタンで操作するとき

便座本体のおしり洗浄ボタンでもノズルの手動洗浄ができます。

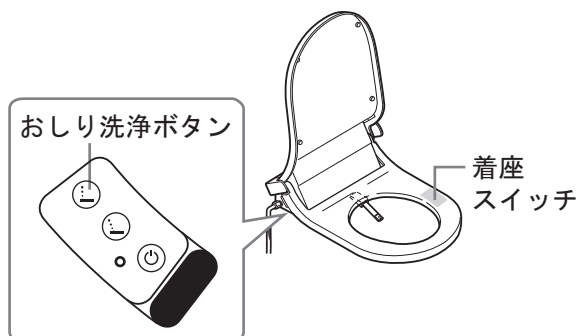


禁止

ノズルの洗浄をする際は、便座に座ったり便座の上にひじをついたり、物を置いたりしないでください。(着座スイッチが反応し、ノズルから温水が噴出します。)

おしり洗浄ボタン

着座スイッチ



リモコン・リモコンホルダーのお手入れ

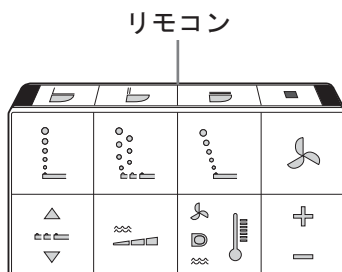
準備するもの



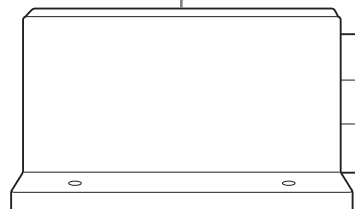
柔らかい布

ふだんのお手入れ

- 1 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 乾いた柔らかい布で拭きます。
- 3 電源プラグをコンセントに差込みます。



リモコンホルダー



電源プラグのお手入れ

ホコリは火災の原因にもなります。定期的にお手入れをしましょう。

準備するもの



柔らかい布

ふだんのお手入れ



必ず実行

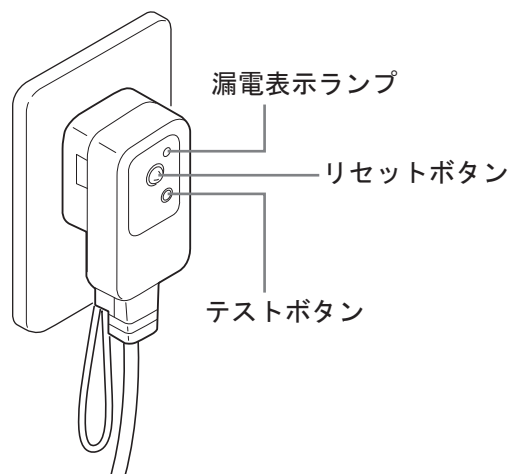
安全のため、月に1回程度は、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてホコリなどを取除き、根元まで確実に差込んでください。(電源プラグにホコリなどがたまると火災の原因になります。)



漏電の確認

- 1 電源プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認します。
- 2 リセットボタンを押して、漏電表示ランプが消灯することを確認します。

万一、正常に動作していない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、止水栓を閉め、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターにご連絡ください。



止水栓・フレキホースのお手入れ

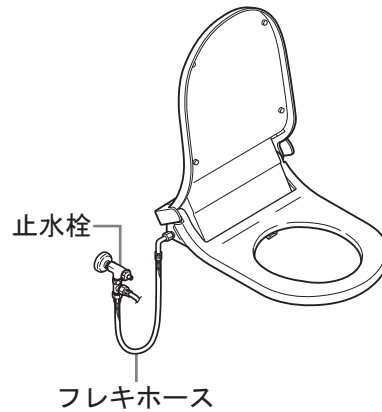
準備するもの



柔らかい布

ふだんのお手入れ

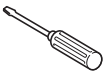
乾いた柔らかい布でから拭きします。



ストレーナーの異物を取る

最初お使いになっていたときより水の出が悪くなった場合は、ストレーナーに付いているゴミなどの異物を取除いてください。

準備するもの



マイナスドライバー



レンチなど



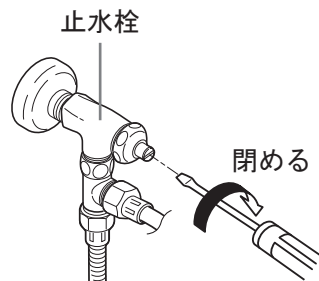
バケツなど



必ず実行

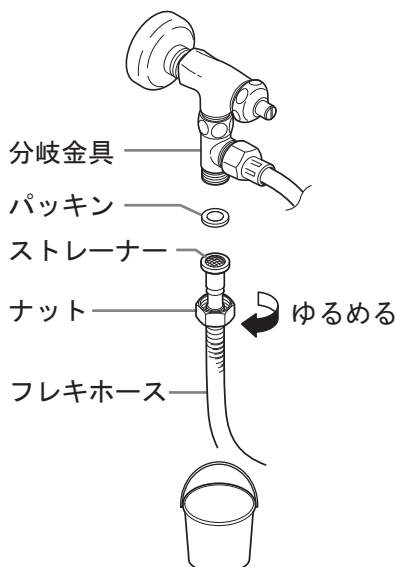
フレキホースを取外す際は、必ず止水栓を閉めて水を止めてください。再度フレキホースを取付ける際は、確実に締め付けてください。
(水の噴出しや漏水などにより家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。)

1 「マイナスドライバー」で止水栓を閉め、水を止めます。

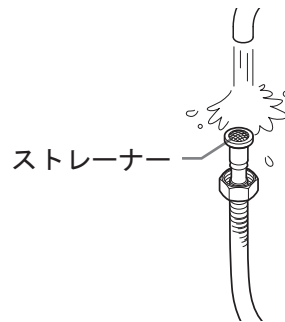


2 「レンチ」などでナットをゆるめ、フレキホースを取外します。

フレキホースを外すと、水が流れ落ちます。バケツなどを下に置いてください。



3 ストレーナーを水洗いします。



4 逆の手順で元に戻します。

5 止水栓を開けて、各部に水漏れがないか確認します。

水漏れする箇所がある場合は、その箇所を施工し直してください。

凍結を防止する

室温が0℃以下になると、便座本体内の水が凍結する恐れがあります。
凍結が予想される場合は**室内を暖房**して凍結しないようにしてください。

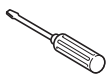


凍結が予想される場合は、暖房するなどして凍結を予防してください。
(凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。)

長期間使用しないとき

旅行などで長期間留守にするときは、万一の故障や水漏れ防止のために次の手順にしたがってください。

準備するもの



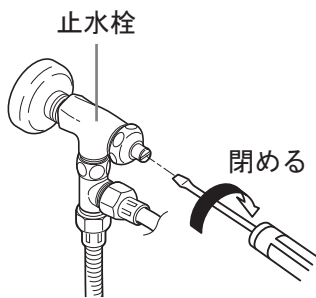
マイナス
ドライバー



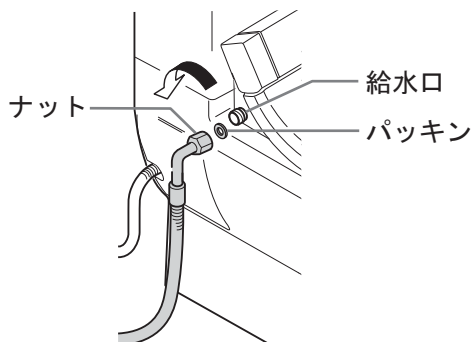
バケツなど

- 1 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 「マイナスドライバー」で止水栓を閉め、水を止めます。

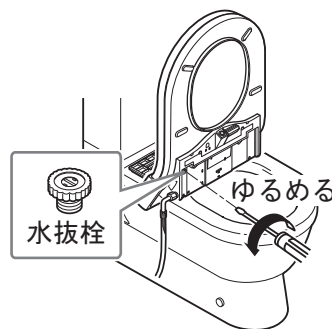
・この時、何周回したかを確認してください。



- 3 「レンチ」などでフレキホースのナットをゆるめ、給水口からフレキホースを取外し、ホース内の水を抜きます。



- 4 便座本体を便器から取外し、水を抜きます。
取外し・取付け手順は、17ページの「便座本体裏面のお手入れ」をご参照ください。
※便器の中に水抜栓を落とさないように注意してください。



- ①「マイナスドライバー」で水抜栓を緩め、取外します。
- ②水を抜きます。
水は便器に流してください。
- ③「マイナスドライバー」で水抜栓を確実に閉めます。

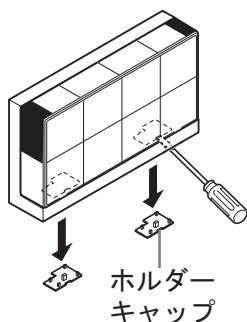
- 5 電池をリモコンから取出します。
取出しの手順は8ページの「リモコンに電池を入れる」をご参照ください。

※再度使用するときには、8ページの「はじめて使うとき」をご参照ください。
止水栓を閉める際に確認していた回転数だけ回して、元の位置まで開けます。

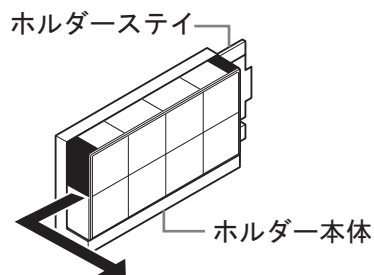
リモコンがリモコンホルダーに固定されているとき

取外しかた

- 1 「マイナスドライバー」でホルダーキャップを取外します。



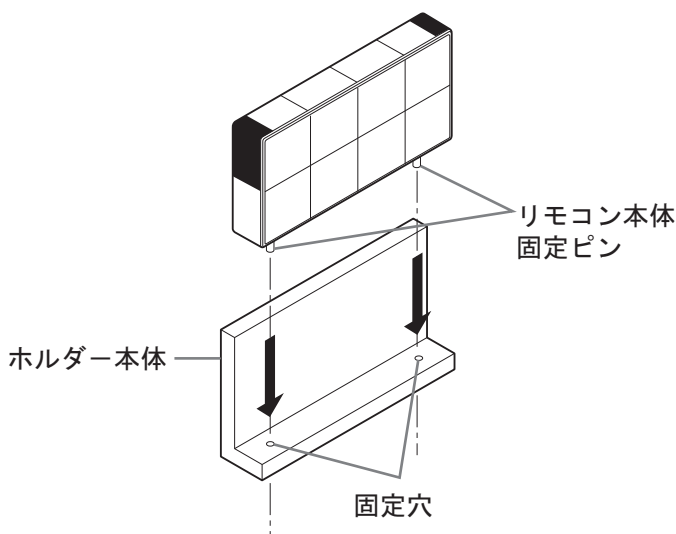
- 2 リモコンをホルダー本体ごと左にスライドさせ、手前に引いて、ホルダーステイから取外します。



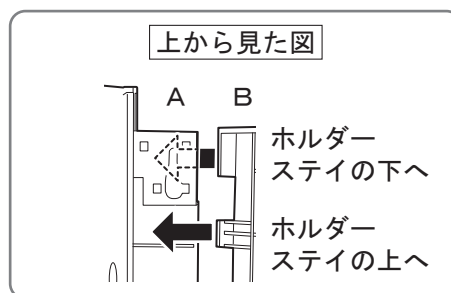
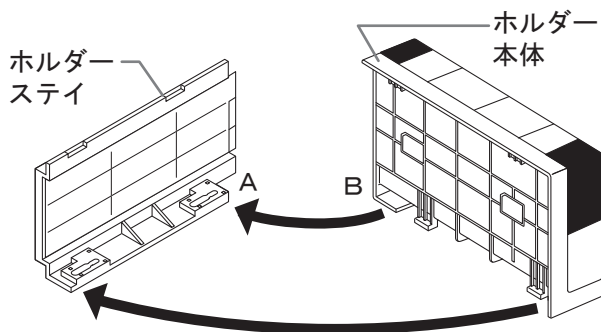
- 3 リモコンをホルダー本体から上に取外します。

取付けかた

- 1 リモコン本体固定ピンをホルダー本体の固定穴に合わせて差込みます。



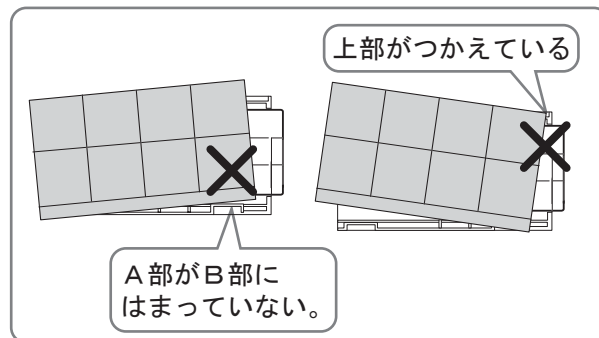
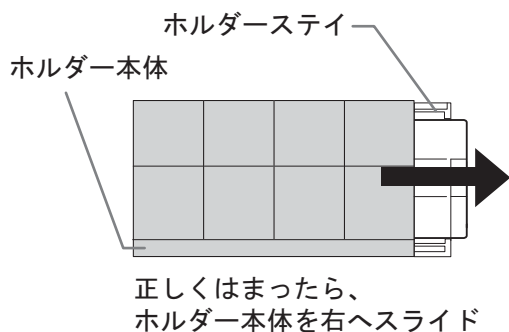
- 2 ホルダーステイのA部とホルダー本体のB部を合わせ、ホルダー本体がホルダーステイに対して平行になるように差込みます。



こんなときは？

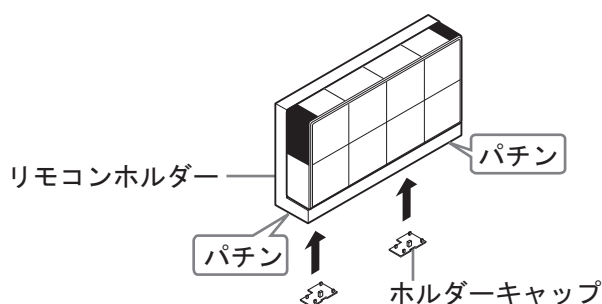
リモコンがリモコンホルダーに固定されているとき(つづき)

3 ホルダー本体を右へスライドして、ホルダーステイにはめ込みます。



4 リモコンホルダーの底面にホルダーキャップを取付けます。

「パチン」と音がすることを確認してください。



漏電表示ランプが点灯したときは

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能が停止し、電源プラグの漏電表示ランプが点灯します。また、電源プラグに水がかかると漏電表示ランプが点灯する場合があります。

漏電表示ランプの解除方法

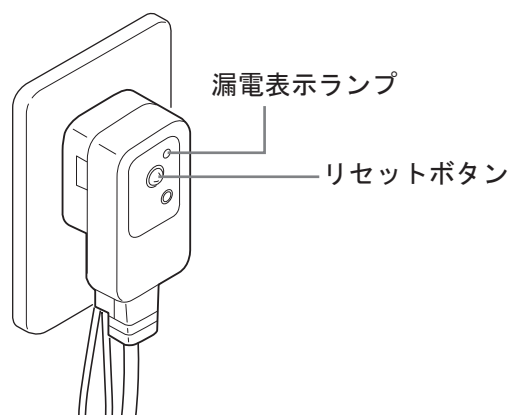
1 電源プラグをコンセントから抜いて、10秒ほど間をおいてから再び差し込みます。

2 リセットボタンを押してランプを消灯させます。

※上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターにお問い合わせください。

※以下の設定は解除されます。

- ・節電モード
- ・確認音を消す
- ・ナイトライト(オン・オフ)
→「自動」設定になります。






リモコンボタンの表示が暗くなったときは

リモコンボタンの表示が暗くなったら、新しい電池に交換してください。

※電池の交換手順は8ページをご参照ください。

※リモコンの電池を交換すると、以下の設定が既定値に戻りますので、再設定してください。

再設定が必要な項目	既定値
ノズル位置	「前」 
洗浄強さ	「強」 
乾燥温度	「中」 
便座温度	
温水温度	

※オーナーシートポジションの登録内容は保存されます。

故障かな？

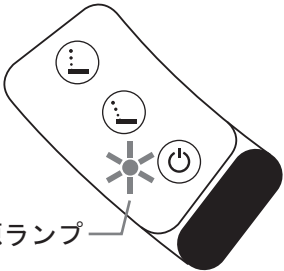
●こんなときには・・・機能が正常に働かないときは、次の要領で点検を行ってください。

現象		原因	対処のしかた	参照ページ
リモコン	リモコンのボタンを押しても動作しない	リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換してください * 便座本体の操作ボタンでも操作できます	8 11,19
		リモコンの電池が正しく取付けられていない	電池の⊕⊖を正しく取付けてください * 便座本体の操作ボタンでも操作できます	8 11,19
		リモコンの送信部、便座本体の受光部が汚れている	汚れを取除いてください * 便座本体の操作ボタンでも操作できます	6,7 11,19
		リモコンの送信部と便座本体の受光部の間に障害物などがある	障害物を移動させるか、リモコンの設置場所を変えてください * 便座本体の操作ボタンでも操作できます	— 11,19
	リモコンボタンを押しても確認音が鳴らない	確認音を消す設定になっている	設定を変更してください	13
洗浄	ノズルが出ない	リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換してください * 便座本体の操作ボタンでも操作できます	8 11,19
		リモコンの電池が正しく取付けられていない	電池の⊕⊖を正しく取付けてください * 便座本体の操作ボタンでも操作できます	8 11,19
		リモコンの送信部、便座本体の受光部が汚れている	汚れを取除いてください。 * 便座本体の操作ボタンでも操作できます	6,7 11,19
		リモコンの送信部と便座本体の受光部の間に障害物などがある	障害物を移動させるか、リモコンの設置場所を変えてください * 便座本体の操作ボタンでも操作できます	— 11,19
		着座スイッチが反応していない	便座に座り直してください	10
	ノズルが出るが洗浄水が出ない／洗浄水の勢いが弱い	断水している	断水が終わるまでお待ちください	—
		止水栓が閉まっている	止水栓を開けてください	9
		ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーの異物を取除いてください	21
		洗浄強さが「弱」になっている	調節してください	12
	洗浄水が温かくない／冷たい	温水温度の設定が「切」または「低」になっている	調節してください	13
		給水温度やトイレ室温が低い場合、出始めの水温が低くなる事があります		—
	洗浄水が途中で止まる	洗浄は約3分間連続で使用すると自動で止まります		10
		着座スイッチが反応していない	便座に座り直してください	10
	洗浄を止めてもノズル根元より水が出ている	洗浄を止めるとその都度、自動でノズルを洗浄します		10

現象		原因	対処のしかた	参照ページ
乾燥	温風が出ない	リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換してください	8
		リモコンの電池が正しく取付けられていない	電池の⊕⊖を正しく取付けてください	8
		リモコンの送信部、便座本体の受光部が汚れている	汚れを取除いてください	6,7
		リモコンの送信部と便座本体の受光部の間に障害物などがある	障害物を移動させるか、リモコンの設置場所を変えてください	—
		着座スイッチが反応していない	便座に座り直してください	11
	温風乾燥の温度が低い	乾燥温度の設定が「切」または「低」になっている	調節してください	13
	温風乾燥が途中で止まる	温風乾燥は約3分間連続で使用すると自動で止まります		11
着座スイッチが反応していない		便座に座り直してください	11	
便座・便ふた	便座本体がガタつく	便座本体またはベースプレートが正しく取付けられていない	ベースプレートまたは便座本体を正しく取付けてください	18
	リモコンで開閉しない	リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換してください	8
		リモコンの電池が正しく取付けられていない	電池の⊕⊖を正しく取付けてください	8
		リモコンの送信部、便座本体の受光部が汚れている	汚れを取除いてください	6,7
		リモコンの送信部と便座本体の受光部の間に障害物などがある	障害物を移動させるか、リモコンの設置場所を変えてください	—
	便座が温かくない／冷たい	便座温度の設定が「切」または「低」になっている	調節してください	13
		節電モードで保温が切れている (電源ランプが緑色に点灯します)	電源ボタンを押して節電モードの設定を解除してください (電源ランプが赤く点灯します)	15
		15分以上座り続けると、安全のため便座の温度が下がります。		—
	便座が熱い	便座温度の設定が「高」になっている	調節してください	13
	ナイトライト	ナイトライトが点灯しない	ナイトライトの設定が「オフ」になっている	設定を「自動」または「オン」にしてください
ナイトライトが消灯しない		ナイトライトの設定が「オン」になっている	設定を「自動」または「オフ」にしてください	14
		感知部が影になっている	感知部が影にならないようにしてください	14
その他	フレキホース接続部より水漏れしている	フレキホースの両端接続部のナットがしっかり取付けられていない	接続部のナットをしっかりと締め付けてください	21

エラー表示

本体に異常が発生すると、本体の電源ランプが点滅して、異常をお知らせします。

表示内容		考えられる原因と対処方法	
 <p>電源ランプ</p>	緑色で点滅	給水の不具合 ヒーターの不具合	止水栓を開けてください。
	赤色で点滅	電気回路の不具合	直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターにお問い合わせください。
	オレンジ色で点滅	便座温度・便座センサーの不具合	
	赤色と緑色で点滅	便座・便ふた開閉機能の不具合	

仕様・定格

定格消費電力		AC100V 875W 50/60Hz(共用)	
電源コード長さ		1.2m	
温水洗浄装置	洗浄水量	おしり洗浄	最大約0.6L/分
		ビデ洗浄	
	水量調節		3段階
	温度制御		マイコン制御 切/低/中/高(約32~約38℃)
	温水ヒーター		833W
	ノズル		ステンレスノズル(位置5段階、エアイン洗浄)
	洗浄方式		おしり、ビデ
安全装置		温度ヒューズ、サーモスタット、フロートスイッチ	
暖房便座	便座ヒーター		42W
	温度制御		マイコン制御 切/低/中/高(約33~約37℃)
	安全装置		温度ヒューズ、サーモスタット
温風乾燥装置	風量		4m/秒
	温風ヒーター		182W
	温度制御		マイコン制御 切/低/中/高(約38~約50℃)
	安全装置		温度ヒューズ、サーモスタット
その他	ノズル洗浄		自動洗浄/手動洗浄
	ナイトライト		自動/オン/オフ
	異常検知装置		表示ランプ、警告音
	オーナーシートポジション (個人設定最大2名まで)		ノズル位置、洗浄強さ、乾燥・便座・温水温度
使用圧力		0.07(流動時)~0.75MPa(静止時)	
使用水温範囲		3~35℃	
使用室温範囲		1~40℃	
リモコン用電源		1.5V単4形アルカリ電池3個	

アフターサービス

重大事故防止のためのお願い(安全にご使用いただくために)

- 故障した状態では使用しないでください。火災や感電、漏水の原因になります。異常あるいは故障に気づいたら、直ちに使用を中止して、電源プラグを抜き止水栓を閉め、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターへご連絡ください。
- 温水洗浄便座は電気製品で寿命があります。定期的な点検を行っていただき、長期間(10年以上)ご使用の際は、買い替えをご検討くださるようお願いいたします。
- ご使用の際は、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

保証書と保証期間について

- 保証書は、この取扱説明書に付属しています。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。

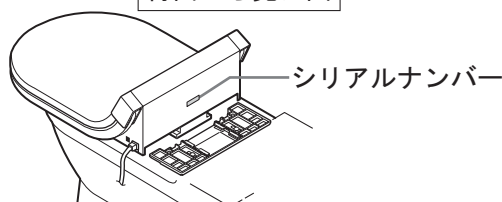
修理を依頼されるときは

温水洗浄便座が正常に動作しないときは、「故障かな?」(26ページ)をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、すぐにご使用を中止し、必ず電源プラグを抜き、止水栓を閉めてから、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターへご連絡ください。

ご連絡の際は、次のことをお知らせください。

- ①品名：温水洗浄便座
- ②品番：#DU-610000001051
- ③お買い上げ日(またはお取付日)
- ④シリアルナンバー(便座背面のシールをご確認ください)
- ⑤故障・異常の内容：できるだけ具体的に
- ⑥ご住所・お名前・お電話番号
- ⑦(ご訪問が必要な場合)訪問ご希望日、道順

背面から見た図



- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、保証期間中でも有料になることがありますのでご了承ください。(詳しくは保証書をご覧ください)
- 保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店、工事店またはコールセンターへご相談ください。故障内容により修理できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

※修理料金は次の内容の合算により算出されます。

- 「技術料」：修理および部品交換などの費用
- 「部品代」：修理に使用した部品代金
- 「出張料」：技術者を修理場所へ派遣した際の費用

部品の保有期間

温水洗浄便座の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

お問い合わせ先

修理のお問い合わせ、製品に関するお問い合わせは下記のコールセンターにご相談ください。

デュラビットお客様コールセンター

(温水洗浄便座・腰掛便器・ロータンク専用コールセンター)



0120-962-980

年中無休
受付時間 9:00~19:00

保証書

お客様	(ふりがな) お名前	様	
	ご住所	〒	
	電話	()	—
販売店	店名 住所	〒	
		電話 () —	
お取付日(お買上げ日)		年	月 日

品名	DURAVIT 温水洗浄便座
品番	#DU-610000001051
保証期間	1 年



上欄に記入のない場合は無効になりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

本書は、本書記載内容（無料保証規定）で無料修理を行うことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店、工事店またはコールセンターに修理をご依頼ください。

本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

無料修理規定

- 商品包装・取扱説明書・取扱表示シールなどの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の販売店、工事店に修理を依頼できない場合、コールセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合は有料修理とさせていただきます。
 - 使用、維持管理上の不注意や誤りによる不具合および不当な修理や改造による不具合。
 - 水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の品質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
 - お取付後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる不具合。
 - 火災、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、雪害などの天変地異、公害(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなどの各種ガス)、異常電圧、破壊行為、その他事故などによる不具合。
 - 金属の腐食しやすい環境(海岸付近、温泉地など)に起因する不具合。
 - 凍結に起因する不具合。
 - 一般家庭用途以外(業務用途での使用、車両や船舶などの移動体への搭載など)に使用された場合の不具合。
 - 消耗部品(パッキンや乾電池など)の消耗に伴う不具合。
 - 塗装の色あせやさびなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
 - 同梱している施工説明書などに基づかない施工および工事に起因する不具合。
 - 砂やゴミ、給水・給湯配管のさびなどの異物流入および水あかの固着、排水の詰まりに起因する不具合。
 - 清掃時の不備による汚れ・さび、洗剤や薬品などによる不具合。
 - 日常のお手入れ箇所(ストレーナーなど)や水抜栓などのOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
 - 本書の期限切れ、または提示がない場合。
 - 本書にお取付日、お客様のお名前、販売店名、工事店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合。

部品の交換について

無料修理により取外された部品・製品に対するお客様の所有権は消滅します。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などにつきましてご不明の場合は、お買上げの販売店、工事店またはコールセンターにお問い合わせください。

※お客様にご記入頂いた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。ご了承ください。

※修理のために、当社から修理委託しているメンテナンス会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。個人情報に関する法規制、および当社と同様の諸規定に基づき慎重かつ適切に取扱います。

